



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	美術科MYPの取り組み その4(fulltext)
Author(s)	嶽,里永子
Citation	国際中等教育研究 : 東京学芸大学附属国際中等教育学校 研究紀要(7): 71-73
Issue Date	2014-03
URL	http://hdl.handle.net/2309/137057
Publisher	東京学芸大学附属国際中等教育学校
Rights	

美術科MYPの取り組み その4

MYP in the Art Department (Report 4)

美術科 嶽 里永子

要旨

本校美術科の取り組みの中から、2012年度の授業実践の一つである米国ベツレヘム中央中学校との交流授業の概要と経過を報告する。

1 はじめに

本校美術科では、以下の点を中心に取り組んできた。

- ① Developmental Workbook を評価課題として活用した MYP 評価規準に基づく授業実践
- ② MYP 芸術課程の新ガイド (2014 年改訂予定) のパイロット校としての実践および報告
- ③ 教科横断的単元プラン (IDU) の作成と実践
- ④ MYP 相互作用のエリアに関連し、国際教養と連携した学習活動
- ⑤ 美術を通じた国際交流
- ⑥ IBO 訪問に向けての資料作成

本稿では、上記の取り組みの中から、⑤の授業実践について報告する。

2 米国交流授業実践について

本校美術科では、前身である東京学芸大学附属大泉中学校の 2006 年度から、米国ニューヨーク州オルバニーのベツレヘム中央中学校 (以下、BCMS) <註1>との交流授業を行なっている。<註2> 2012 年度 2 学期の交流授業実践について以下に記す。

1. 単元：シュルレアリストになろう！ (授業者：筆者 但し一部を教育実習生が担当)
2. 単元クエスチョン：Why do we imagine? Why and how do we express the world of imagination?
(人はなぜ想像するのだろうか？人はなぜ、どのようにして、想像の世界を表現するのだろうか?)
3. 重要概念：imagination (想像)
4. 対象：第2学年
5. 期間：2012 年 10 月～2012 年 12 月初旬
6. 指導計画 (全 12 時間)

第一次 (教育実習期間)	国内外のシュルレアリスム作家作品の鑑賞 (1 時間) シュルレアリスム作家作品にみられる発想の工夫や代表的な技法 (図 1、2) の学習 (2 時間)
第二次	学校内の身近な環境をシュルレアリストの発想や技法を用いて表現する (図 3) アイデアスケッチ、制作プロセスの振り返りと次回の目標を DW に記録する (8 時間) シュルレアリスムの作品を 2 つ以上とりあげ、自分が感じたこと、表現の特徴や工夫、作者の情報、年代と当時の時代背景などを調査する。感じたこと、調べたことをもとに、なぜそのような作品がつけられたのかを、自分なりに分析して考えを DW にまとめる (課題学習 1)

第三次	作品鑑賞 (図4)、交流の為に自己と作品を紹介する英文の手紙 (図5) 作成 (1時間) 作品制作、課題学習1、授業内外での経験を通して得た事をもとに単元クエスチョンに対する見解をDWにまとめる (課題学習2)
-----	--

3 授業実践後の交流経過

2012年度2学期の学習評価後、3学期に生徒作品および手紙をBCMSへ郵送した。本校生徒作品と手紙はBCMS6年生と8年生の生徒達に鑑賞された後、BCMS美術科のピーター・ロジエロ (Peter=Ruggiero) 教諭によって2013年度の7月に本校へ返送された。その際に、ピーター教諭の美術クラス生徒から本校生徒へ宛てた作品と手紙が同梱されているが、概要は以下である。

- ① BCMS 8年生より：本校生徒の作品に対する感想を含む手紙 (図6)
- ② BCMS 8年生より：本校生徒作品 (図7) から発想を得て作られた作品 (図8)
- ③ BCMS 6年生より：本校生徒の作品に対する感想を含む手紙と、ハーレム・ルネサンス期の作家ラングストン・ヒューズの詩から発想を得たコラージュ作品 (図9)

国際交流による効果の例として、②では本校生徒が校舎廊下に巨大な足を出現させる表現 (図7) をしているのに対し、BCMSの生徒は校舎教室に巨大な魚を出現させる表現 (図8) をしている等、海を越えた相手の表現から刺激を受けつつ独創性ある表現を積極的に追究する様子が伺える。

これらの作品と手紙は2013年度2学期以降に本校生徒に紹介する予定である。



図1 フロッターージュの学習



図2 デカルコマニーの学習



図3 制作途中の様子



図4 本校生徒の作品例

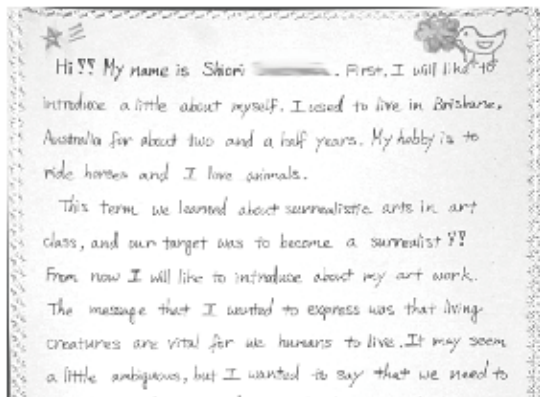


図5 本校生徒の手紙例

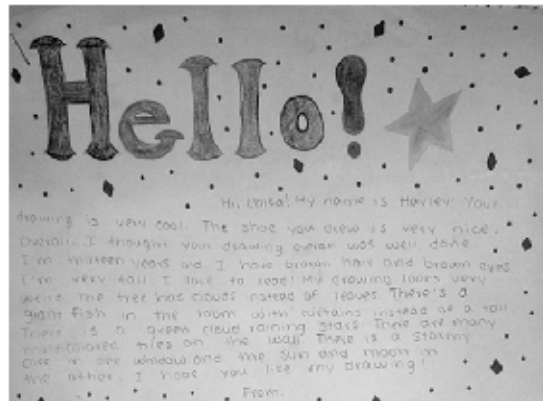


図6 BCMS 8年生の手紙例



図7 本校生徒：巨大な足のある表現

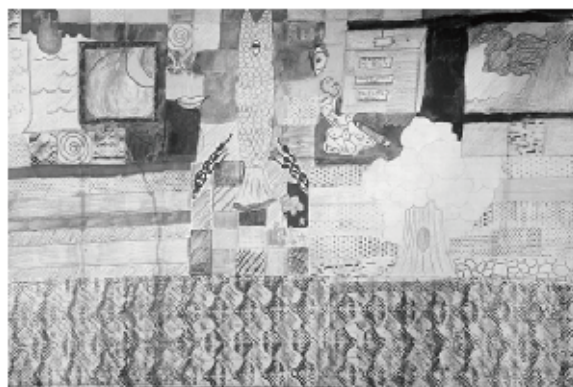


図8 BCMS 生徒：巨大な魚(中央)のある表現

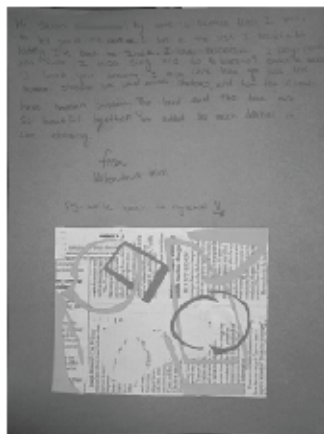


図9 BCMS 6年生の手紙と作品例

<註1> Bethlehem Central Middle School /332 Kenwood Avenue, Delmar, NY 12054

<註2> 「美術科MYPの取り組み」国際中等教育研究 第4号を参照

Abstract

This article reports the progress of exchange programme of art classes with Bethlehem Central Middle School (USA) in CY2012.